



# ステロイド外用剤の正しい使い方

ステロイド外用剤は湿疹や虫刺されなどによく効くすばらしい薬です。しかし万能薬ではなく、どんな病気にも使える薬ではありません。ステロイド外用剤の強さもさまざまで、病気に応じて適切に使用することが大切です。また外用する部位によっても使い方が異なります。長期に使えば局所的な副作用が出ることもあります。皮膚科専門医に相談して正しい使い方を心がけましょう。

## こんな病気に効きます

マンゴー皮膚炎



湿布かぶれ



毛虫皮膚炎



アトピー性皮膚炎



治療前

治療後(6日後)

## 使ってはいけない病気

ヘルペス(ウイルス感染症)



疥癬(ヒゼンダニ)



おむつかぶれに合併したカンジダ

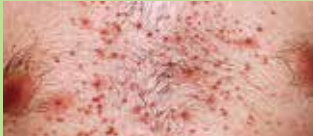


白癬(タムシ)



## 副作用

マラセチア毛包炎(カビによるニキビ)



毛のう炎(細菌感染の誘発)



化粧の下地に使い続けた例

皮膚萎縮と出血



## 気をつけてください

- 1 ステロイドの作用についての正確な知識が必要です  
市販のステロイド外用剤をむやみに使わないこと(ミニ知識参照)
- 2 思わぬ薬にステロイドが含まれていることがある
- 3 自分に効くからといって知り合いにあげない
- 4 皮膚科医が処方するステロイド外用剤をむやみに拒否しない
- 5 効かないときや悪化したときは中止して主治医に相談すること



耳の白癬  
湿疹のように見えるタムシ  
ステロイド外用で悪化

## 上手に使いましょう

- 1 入浴後の外用は効果的
- 2 病変部のみにつける
- 3 強くこすらず薄くのばす
- 4 ステロイドに限らず外用後は無用の直射日光を避ける
- 5 妊娠・授乳中も使用してかまいません

## ミニ知識

- 1 顔と外陰部は吸収がよく副作用が出やすいので気をつけましょう
- 2 外用直後に毛細血管収縮作用により白くなることがありますが、一過性で消失します
- 3 治ったあとに色がつくことがあります。これは炎症後の色素沈着といわれステロイド外用剤のせいではありません
- 4 病変部だけに作用して病気を治すので全身的な副作用はまずありません
- 5 ステロイド外用剤は50年以上使われてきた歴史があります

いい ひふ

# 11月12日は皮膚の日です